妙高西条農園おたより

No.１４０
４月　号
2023. 4.23

雪解けが早かったことから、例年より早く春の農作業が始まりました

今年の冬の最高積雪は1.5m位で、3月入ってからも暖かい日が続いたことから、雪解けも進み、上旬には圃場の雪もなくなり、下旬には高田城趾公園の桜も満開になりました。

春の農作業も早まり、3月20日から種籾の消毒・浸水を開始し、4月8日に苗箱250枚に籾播を行いました。

3月中旬の妙高連山の残雪

肝太

毎年雪消えを待って行うのが。畦塗り作業です。今では、トラクターにアタッチメントを付け行えば1～2日で済みますが、以前は鍬とスコップを使い人力のみで行っていた、大変重労働な作業でした。でもこの作業を行わないと、畦から圃場の水が漏れ、水田の管理が出来なくなってしまいます。

トラクターによる畦塗り作業

籾播後直ぐに保温器に入れ芽出しを行い1cm程に白く発芽した苗箱を4月12日にビニールハウスに移動し、15日に3cm程に伸びたので、上掛けを外し光合成による緑化を促進するようにしました。

更に例年使用し良質苗を作るための第1回目のHB-101を散布しました。現在3～5cm程に生育していますが、5月の田植えまでに後2～3回HB-101の散布を予定しています

苗箱への種籾播き作業

動噴による散布作業

今年も美味しいお米を作るため、有機・ミネラル米にこだわって米作りを行います

ミネラル土壌改良材

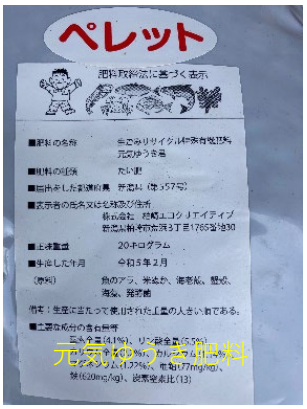
私が米作りを引き継いでから、如何に美味しいお米を作り直接、消費者の皆様にお届けすることでした。理由の1つは、ミネラルの多く含まれた圃場で、有機肥料を使い栽培すること。2つ目は、日本で最高の傑作である、本物コシヒカリの種籾を使い良い苗作りから、直営で行うこと。3つ目は、農協やお米屋さん等の流通業者を通すと他のお米とブレンドされてしまい、せっかくのこだわりが無くなってしまうからです。

この QR コードから春1番の畦塗り作業等の動画が見られます

今年も黒ニンニクの元が順

昨年も好評を頂いていました、黒ニンニクですが、元の生ニンニクが秋にはなくなってしまい、その後も多くの方々からご注文を頂いたのですが、原材料不足でご迷惑をおかけしてしまいました。昨年秋に植えたニンニクですが、冬を乗り越え、順調に生育しています。

生育途上のニンニク



元気ゆうき肥料

発行者
〒944-0023
新潟県妙高市西条755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255-72-3497
Fax 0255-72-2908